

## 鹿児島県みんなの森づくり県民税構想〔第5期〕（案）に係る パブリック・コメントの結果

- 1 実施期間 令和6年10月7日（月）～11月6日（水）
- 2 意見の件数 2件（2人）
- 3 提出された御意見の概要と県の考え方

番号	御意見の概要	県の考え方
(1)	<p>森林環境教育は、県民に対し森林環境の保全を図る必要性を理解させるために重要であり、また、森林・林業に関する学習や体験活動や木の良さなどを学ぶ「木育」等の継続的な実施により、多くの県民や子どもたちの森林・林業の重要性に対する理解が進むことから、今後も毎年実施すべきである。</p>	<p>本構想〔第5期〕（案）の「5（2） ①ア 森林にふれあう<sup>もり</sup>機会の創出、イ 森林環境教育の推進、エ 木とふれあう環境づくり」に記載しているとおり、引き続き、森林環境教育を推進するとともに、森林・林業に関する学習や体験活動、「木育」の取組などを支援したいと考えています。</p>
	<p>森林ボランティアの育成を図るために、里山林等の森林整備などを実施する団体の支援に積極的に取り組んでほしい。</p>	<p>本構想〔第5期〕（案）の「5（2） ①ウ 多様な主体による森林<sup>もり</sup>づくりの促進」に記載しているとおり、自治会やNPOなどが行う森林づくりを支援するとともに、それらを牽引する森林ボランティアを育成したいと考えています。</p>
(2)	<p>森林資源は充実しており、主伐箇所は今後も増え続けていくと思うので、引き続き、再造林が進むよう取り組んでほしい。</p> <p>また、間伐が必要な林分は県内にまだまだ多いと感じているため、今後も間伐遅れ林分の解消に取り組んでほしい。</p>	<p>本構想〔第5期〕（案）の「5（2） ②ア 育ててつなぐ<sup>もり</sup>森林づくり」に記載しているとおり、森林資源の循環利用を推進し、健全な森林を次世代に継承するため、再造林の低コスト化や推進体制の強化、間伐や路網の整備などを支援したいと考えています。</p>